

秋のパーティー
シーズンに!

幸せを呼ぶ
ブルー・ワイン
はいかが!?

飲む人すべてに
幸福を運ぶ!
16年の秋冬の
トレンドは
“ブルー・ワイン”
で乾杯!

スペイン発のワインメーカー「Gik」をご存じだろうか? 赤でも白でもロゼでもない“青いワイン”を開発したメーカーで、ユーロ圏では神秘的とも、青すぎるとも言われる色が注目され、昨年より世界中で話題となった。その「Gik」の日本上陸が「今年あるかも!?’と言われる今、HDPはひと足先に“青いワイン”に着目。早耳のHDP諸兄は、今すぐ国内で購入できるブルー・ワインを手し、これから始まるパーティーシーズンで差をつけるべし!

取材・文 | 油野崇
撮影 | 小島昇
デザイン | 小川恵子

ワイン王国・山梨発
笑み広がるスカイブルー



no.3
勝沼ブルーワイン
Katsumura Blue Wine

勝沼ブルーワイン

価格1860円(税別)
問055-241-7878
(マツムラ酒販)



ワイナリー
蒼龍葡萄酒(日本・山梨県)

ブドウの品種
国産ナイヤガラ80%、山梨県産甲州20%

容量 500ml

アルコール度数 10%

最適なシーン
女子会、結婚式の2次会、クリスマス

ワインに合う食べ物
クリームチーズ、魚介、鶏肉料理

<http://www.matsumura-shuhan.jp/>

「ワイン王国・山梨ならではのブルーワインで特別な日を祝いたい」。そんな一人の客の声に耳を傾け、青いワインを造ったのが山梨県の酒販卸「マツムラ酒販」だ。タッグを組むのは山梨県勝沼市で1898年創業の「蒼龍葡萄酒」。ちなみに「蒼龍」は中国の故事で幸せの神様である。ベースは国産「ナイヤガラ」と山梨県産「甲州」による白ワイン。ブルーベリー果汁等で色づけされた透き通ったブルーは、幸せを呼ぶ幻想的な青い色であり、ブドウ畑の上に広がる青空のよう。グラスに注げばフレッシュな香りが立ち、口に含めばナイヤガラ種特有のフルーティな甘さの後に甲州種の酸味とキレが広がる一杯。飲めば笑み溢れること請け合いた。